

◆ EIZO : 『ナショナル・ギャラリー』 イギリスが誇る美術館 - 有名絵画を正確な色で画像データ化

イギリスの「ナショナル・ギャラリー」は、世界最多級の絵画を所蔵する美術館です。作品は 1250 年から 1900 年までのものを展示し、ヨーロッパ美術の歴史を物語ります。ナショナル・ギャラリーのコレクションは、1824 年に銀行家 John Julius Angerstein のコレクションが市場に出回った際に、イギリス政府が国民のためにそれらを購入したことが始まりでした。

ナショナル・ギャラリーは、ロンドンのウェストミンスターにあるトラファルガー広場の北側に位置します。入場は無料で、施設とコレクションの両方を拡大し続けています。今回、同ギャラリーの写真・映像部に所属する Andrew Bruce 氏に、ギャラリーにとって絵画を撮影し画像データ化することの重要性、また EIZO の ColorEdge をどのように撮影ワークフローに取り入れているかについてお話を伺いました。



ナショナル・ギャラリーとは

ナショナル・ギャラリーの写真部門は、1919 年、絵画の写真を撮影し、一般に販売するために設立されました。しかし直後から、写真家たちは絵画をクリーニングする際の記録を求められるようになりまし。今日でも、修繕処理前、処理中、処理後の絵画の記録を行っています。ここ最近でも、COVID-19 の流行により質の高い絵画の写真の重要性がより際立ちました。というのも、歴史上で最も長い 1111 日もの間ギャラリーが閉鎖されていたため、絵画を楽しんだり研究したりする唯一の方法が、私たちが制作した写真だったからです。

写真部は、絵画、またギャラリー自体を記録するだけでなく、さまざまな画像処理技術を駆使します。このことは、ギャラリーで働く人間が、絵画をよりよく理解し、絵画がどのように作られ、どのように扱われてきたのかを研究し、またどのように手入れをするのがベストなのかを考えるうえで役立っています。そのため私たちは、X 線撮影、紫外可視発光画像処理 (UV-visible luminescence imaging)、レーキングライト撮影 (Raking light capture)、写真測量を行っています。高解像度での撮影は、絵画を小さなセクションに分けて撮影し、撮影した多数の画像ファイルをつなぎ合わせることで可能となります。絵画を電動イーゼルに取付け、カメラの前で絵画を移動させながら、特殊なカメラで連続写真を撮影します。完成した画像データは、普通のカメラで撮影するよりも解像度が高

く、色もよく再現しています。大きな絵画の場合は、数百枚の写真を撮影し、それらをつなぎ合わせることで 1 枚の巨大かつ高精細な画像を制作することができます。



モニターになにを求めますか？

最も正確で均一、かつ再現性の高い写真を撮影するために、撮影時に私たちは絵画を超高品質のキセノンフラッシュライトで照らします。また使用するレンズ、光源、センサーなどの撮影環境を整え、カラープロファイルを適用し写真を撮影します。こうして驚くべきレベルのディテール、色、正確な色調の画像データを作成しています。つまり、カメラが絵画の色を非常に正確に捉えているので、細部まで表現力が豊かな写真が撮影できるということです。

私たちが現在行っている多くの仕事は「数字による写真撮影」です。さまざまなチャートや目標値と撮影した写真に記録された測定値を比較して写真の精度を判断するということです。このプロセスは、絵画の撮影において主観を排除するうえで重要なことです。なぜなら撮影者が個人的な判断で絵の見え方を決め、絵画の撮影法を変えてしまうことは避けなければならないからです。例えば、ある撮影者が一枚の絵を見て、他の撮影者が感じるよりも明るく、カラフルで、青みがかっていると思い込み撮影や色合わせを行った結果、完成した写真が不正確なものになってしまうことを避けたいからです。コンピュータのソフトウェアは、どんな人間よりもはるかに正確に色を合わせることができます。

人間の目は、調整された照明のもとであっても、モニターに映し出された絵画の撮影画像と実際の絵画を比較するのが苦手です。そのため、私たちが実際の絵画と画面上の撮影画像を比較することはほとんどありませんが、その代わりに、モニターには私たちが撮影した写真を最も詳細かつ忠実に表現することを求めます。コンピュータモニター上での参照が撮影者にとって最初のチェックポイントになるため、その時点で撮影した画像の見え方に問題があれば、絵画や撮影方法のさらなる調査が必要かもしれないことに気が付くことができます。

EIZO ソリューションの利点をお教えてください。

ナショナル・ギャラリー写真・映像部では、2019 年 12 月から ColorEdge CG279X を導入し、現時点で非常に満足していま

す。私たちがCG279Xを選んだ理由は、27型の画面は、私たちが使用しているさまざまなアプリケーションを表示するのに十分な大きさであると同時に、撮影した写真のプレビューを表示するのにちょうどよい大きさだからです。また3D-LUTファイルを適用した表示ができるのは本当にありがたいです。以前使用していた通常のLUTの広色域モニターと比べて、より正確に画像の階調を表示でき、より高品質であることは明らかです。高性能のグラフィックボードを搭載した最新のPCで作業することで、10-bit表示ができ、さらにCG279Xの16-bit LUTで処理することで多階調化できるので、これまでのモニターでは見たことのない、滑らかな階調表現が可能になりました。最も暗い色調から最も明るい色調までの階調の正確さは、我々にとって特に重要です。CG279Xの広い色域のおかげで撮影した写真が持つ色域をすべて表示することができます。また、プリセットのモニタープロファイルが用意されていることで、より一般的な色空間のsRGBで画像を瞬時にプレビューでき、一般的なモニターやデバイス上で画像がどのように見えるのかを確認することが可能となりました。

最後に、CG279Xはキャリブレーションセンサーを内蔵し、自動で定期的にキャリブレーションするため、安心感があります。我々は、一週間ごと、夜明け前の時間帯にキャリブレーションを行うように設定しています。この時間帯に設定することには二つの利点があります。就業時間外であるため作業時間が削られないこと、また、消灯し、屋外が暗い時間に行われるため、周囲の環境光の干渉なくキャリブレーションの品質が低下しないことです。

歴史的傑作の絵画作品たちを精密な画像データにするためには、精密なモニターを使用する必要があります。ColorEdge CG279Xは、自動キャリブレーションとその正確な表示で、どんな画像データ作成でも生産性と精度の向上に貢献してくれます。



導入製品 ColorEdge CG279X

◆カメラと写真映像の世界プレミアショー CP + シーピープラス 2021 出展募集開始のお知らせ

新型コロナウイルス拡大という未曾有の事態により、今年2月に開催予定だったCP⁺2020の開催を断念した。しかし、その後の関係各社の尽力により、なんとか来年2月のCP⁺2021は開催の目処がたちましたので、ご案内いたします。

一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA) [代表理事会長 真栄田雅也 所在地: 港区芝浦3810MA 芝浦ビル] は、最新の製品や技術を紹介し、産業の未来と写真映像文化の楽しみや広がり伝える、国際的なカメラと写真映像の世界プレミアショー「CPシーピープラス2021」を、2021年2月25日(木)～28日(日)に開催すると発表した。

CP⁺2021では、会場開催とオンライン開催を複合した新しい形態で10月28日(水)より出展社の募集を開始した。

この自粛期間にオンラインは非常に身近なものになり、それを活用することで、CP⁺がこれまで以上に魅力的なものになると考えている。日本から世界へ情報発信できるカメラ・写真映像の国際ショーCP⁺は、カメラ・写真映像産業と写真映像文化を引き続きアピールして参りますので、なにとぞご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【CP⁺2021 イベント概要】

名称: CP⁺ (シーピープラス 2021)

開催日程: 2021年2月25日(木)～2月28日(日)

2月25日(木) 10:00～18:00 (プレスの方は09:50より入場可)

2月26日(金)～27日(土) 10:00～18:00

2月28日(日) 10:00～17:00

開催場所: パシフィコ横浜

入場料: 完全WEB入場事前登録制(無料)

主催: 一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)

協賛: 一般社団法人日本写真映像用品工業会

後援: 経済産業省 / 観光庁 / 神奈川県 / 横浜市 / 横浜商工会議所 / 日本貿易振興機構(JETRO) 予定

主な出展分野: カメラ、レンズ、フォトアクセサリ、プリンター、画像処理ソフト、携帯機器、ディスプレイ、プロジェクター、フォトブック、プリントペーパー、スタジオ用品・機材、ドローン、ウェアラブルカメラ など

■ CP⁺ オフィシャルウェブサイトについて

CP⁺ オフィシャルウェブサイト(日・英)を開設しています。

★ CP⁺2021 ロゴ、CP⁺2019の記録写真のダウンロードが可能。

■ 今後のスケジュール(予定)

・12月4日(金) CP⁺2021 ONLINE 出展社説明会

・12月16日(水) 出展社説明会・小間割抽選会

・2021年1月19日(火) 記者発表会

今後も随時新しい情報を更新・配信していく。

→ CP+2021 オフィシャルウェブサイト www.cpplus.jp



◆ソニー・ソニーホームエンタテインメント&サウンドプロダクツ・ソニーマーケティング：高精細な3DCG映像を裸眼で楽しむ 圧倒的な実在感を創り出す空間再現ディスプレイ『ELF-SR1』発売

—AI・画像解析技術を生かした最新ソフトウェアで、常に進化した機能を提供—



新品 空間再現ディスプレイ (Spatial Reality Display) 『ELF-SR1』

ソニーは、高精細の3DCG映像を裸眼で見ることができる空間再現 (SR) ^{*1} ディスプレイ『ELF-SR1』を発売します。圧倒的な精細感で、あたかもそこに物が実在するように映像が見える空間映像体験は、ゲームやCGクリエイターはもちろんのこと、建築家や車のデザイナーなどあらゆる制作者のコンテンツ表現の幅を広げます。デザインの立体的な確認だけでなく、ショールームや美術館でのディスプレイ展示、店舗等での立体サイネージなど、これまでにない映像表現が新しい活用を可能にします。

※1：SR=Spatial Reality (スペーシャル・リアリティ)。映像を立体空間に再現することを表す。

商品名：空間再現ディスプレイ 型名：『ELF-SR1』

発売日：10月31日 価格：オープン価格

本機は、その場に実物があるかのような立体的な空間映像を再現し、特別なメガネやヘッドセットなどを使わず裸眼で見ることができるディスプレイです。制作物の奥行き感、質感、佇まいなどをリアルに確認することができるので、プロダクトデザインを共有したり、ショールームなどで製品の色や形のバリエーションを見せたりといった場面でも、クリエイター側の思いを忠実に表現することができます。見る角度にかかわらず視点の変化に合わせた映像を確認することができ、被写体が動いていても、立体的に見える映像に遅延やズレがほとんどありません。ディスプレイの奥に別世界があるかのような新しい空間映像体験は、クリエイターの表現力を大きく膨らませ、見る側に忠実に届けることができます。

* 『ELF-SR1』のプロモーション動画は、YouTubeにてご覧いただけます。
<https://youtu.be/pnBXFk4UilQ>

●主な特長

1. 裸眼で見られる高精細な空間再現ディスプレイ

SRとは、Spatial Reality (スペーシャル・リアリティ) の略です。VR (バーチャル・リアリティ) が仮想のデジタル世界で映像を体験するのに対し、SRでは空間そのものを、そこに実在しているかのように目の前に再現します。独自技術により、特別なメガネやヘッドセットを使わなくても、裸眼で高精細な3DCG映像を見ることができます。

1) 高速・高精度のリアルタイムセンシング技術

高速ビジョンセンサーと視線認識技術により、見る人の目の位置を常に正しく検出します。水平や垂直方向のみならず、奥行き方向についても左右の目それぞれの位置をリアルタイムに把握します。



2) リアルタイム映像生成アルゴリズム

ユーザーの目の位置情報をもとに、実際にディスプレイパネルから出す光源映像をリアルタイムに生成します。常に両目に正しい視点画像が提示されるので、実際に空間や物体がそこにあるかのように感じることができます。



3) マイクロオプティカルレンズ

リアルタイムに生成した映像を左右の目に届けるための独自のマイクロオプティカルレンズをパネル全面に超高精度に貼り付けることにより、自然な裸眼立体視を可能に



しています。従来の3Dディスプレイと比較してクロストーク^{*2}を大幅に低減し、映像を正しく左右の目に届けることができます。

※2：片方の目の映像がもう一方の目の映像に混ざる現象。映像がクリアに見えなくなる。

2. 多様な用途に合った表現力

高精細かつ立体的に映し出す表現力により、コンテンツクリエイターにとって制作中のコンテンツの確認がイメージ通りの形で簡単に行えます。例えば車や建築のデザインなどにおいては、従来のように試作品を作ることなく、ディスプレイ上で条件を変えながら様々な試行錯誤を繰り返すことができるので、クオリティの向上や制作コストの削減、リードタイムの短縮に繋がります。またアパレルやハウスメーカーのショールームや店舗では、従来はスペースや費用などの面から展示できる品数に制限があったものでも、本機に表示させることで数多くのカラーや形のバリエーションを紹介する

ことができます。さらに、美術館や博物館、イベント会場などでは、通常遠くからしか見られない対象物を本機に映し出すことで、立体感のある表現を間近で、様々な角度から、楽しむことができます。このように、クリエイターの制作用途から店舗やイベント会場での展示用途まで、幅広い間口で活用できる表現力を持ったディスプレイです。

3. 専用 SDK の提供とサポート

本機向けのコンテンツ制作を容易に行える専用 SDK(ソフトウェアデベロップメントキット)を開発者向けサイトにて無償提供し※³、制作活動をサポートします。本 SDK は、ゲームや VR、建築、車のデザインといった様々な業界のインタラクティブなアプリ開発の定番ツールである Unity と Unreal Engine 4 に対応していますので、クリエイターは既存の 3D コンテンツを本機に表示することができます。

※ 3 : <https://www.sony.net/dev-srd> にて 2020 年 10 月 31 日より提供開始。

●先行展示

今回の新商品を、ソニーショールーム/ソニーストア 銀座にて 10 月 16 日(金)より展示します。また、ソニーストア 札幌、ソニーストア 大阪、ソニーストア 福岡天神においては 10 月 23 日(金)より展示予定、ソニーストア 名古屋においては 11 月 6 日(金)より展示予定。

●主な仕様

以下の URL からご確認ください。

<https://www.sony.jp/spatial-reality-display/>

市場推定価格(消費税を含みません):

空間再現ディスプレイ『ELF-SR1』500,000 円前後

※「市場推定価格」は、発売前の製品について、市場での販売価格を当社が推定したものです。

なお、製品の実際の販売価格は、各販売店により決定されます。

法人向けモデルについて

保証期間やサービスを充実させた法人向けモデル(『ELF-SR1/BZ』)も発売します。詳細は法人向け製品情報サイトをご覧ください。

www.sony.jp/spatial-reality-display-biz/

※ 記載されている商品名などは各社の商標または登録商標です。

※ 報道関係からのお問い合わせ先: ソニー(株)広報部 メールアドレス: Sony.Pressroom@sony.co.jp

※ お客さまからのお問い合わせ先: ソニーマーケティング(株) 買い物相談窓口

▼メール・チャット・LINE ※ 24 時間対応

<https://www.sony.jp/support/inquiry.html>

▼電話相談窓口 受付時間 月~金: 9:00 ~ 18:00

TEL 050-3754-9555

■ ソニー製品情報サイト: <https://www.sony.jp/>

■ 空間再現ディスプレイホームページ:

<https://www.sony.jp/spatial-reality-display/>

◆ケンコープロフェッショナルイメージング: GODOX LED フラッシュライト LF308 販売開始のご案内



株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング(代表取締役社長: 山中徹)は GODOX の LED フラッシュライト LF308BI、LF308D の発売を 2020 年 10 月 23 日より開始。

■製品特徴

瞬間発光機能を備えた小型 LED ライト。LF308BI はバイカラータイプ、LF308D はデューライトタイプです。インタビューや小物撮影、オンラインミーティング等で活用できるとしている。

瞬間発光モードでは、GODOX のワイヤレス X システムにより、シャッターリリースに同調した発光が可能。また LED モード時は、付属のリモコンもしくは Bluetooth 接続したモバイル端末のアプリから調光等の制御が可能。

電源は、ソニー NP-F シリーズもしくは付属の AC アダプター。AC アダプターを使用すれば長時間の点灯も可能。

■ LF308BI/LF308D の主な仕様

色温度 BI: 3300-5600K ± 300K、D: 5600 ± 300K

明るさ: BI: 1200lux (1m)、D: 1300lux (1m)

グループ設定: 6 グループ

チャンネル設定: 32

最大消費電力: 18W

電源: 7.4V リチウムイオンバッテリー NP-F シリーズ、AC アダプター

入力電圧: 6.5-12V、4A

サイズ・重さ: 180 × 123 × 40mm、約 460g

■製品名・JAN コード・価格(税別)

GODOX LF308BI 4961360038965 15,800 円

GODOX LF308D 4961360038958 15,800 円

■発売: 2020 年 10 月 23 日

お問い合わせ先: 株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング

〒164-0001 東京都中野区中野 5-68-10 KT 中野ビル 3F

TEL 03-6840-3622 FAX 03-6840-3861

URL: <http://www.kenko-pi.co.jp>

◆ソシオネクスト：AWS 上で利用可能な高速・高画質 H.264 映像エンコーダ ーの提供を開始

株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) は、Amazon Web Services, Inc. のクラウドサービス アマゾン ウェブ サービス (以下、AWS) 上で利用可能な高速・高画質の映像エンコーダー「H.264 Encoder on AWS」を開発し、AWS のユーザーに向けて提供を開始しました。映像配信サービス事業者は「H.264 Encoder on AWS」を利用することで、配信する映像の品質を保ちつつ、映像コンテンツの制作から配信までの処理時間を従来の30%へと飛躍的に短縮することができ、コストを抑えながらサービス品質の向上やコンテンツ本数の充実が可能になります。「H.264 Encoder on AWS」は、AWS の Amazon Elastic Compute Cloud Amazon EC2) サービスの F1 インスタンス上で動作する映像エンコーダーで、インターネットでの映像配信で最も一般的に利用されている H.264 エンコード規格に準拠し、映像配信サービスに求められる高画質での圧縮と、高速処理を同時実現します。

AWS の F1 インスタンスには、ハードウェア回路を書き込んで利用することのできる FPGA デバイスが用意されています。「H.264 Encoder on AWS」はソシオネクストのハードウェア回路技術を活かした独自のアクセラレーター回路を F1 インスタンスの FPGA デバイスに書き込んで利用するもので、高画質での映像圧縮をソフトウェアエンコーダーでは実現不可能な速度で処理することができます。また「H.264 Encoder on AWS」は、アプリケーションインタフェースとして映像配信サービスのシステムに多く利用されている FFmpeg を採用しているため、映像配信サービス事業者は容易に自社のシステムに組み込んで利用することができます。

ソシオネクストは、今回提供を開始した「H.264 Encoder on AWS」や、同社の映像処理技術を活かした SoC System-on-Chip) 製品により、需要が拡大しているクラウド経由の映像配信に向けたソリューションを順次提供していきます。

H.264 Encoder on AWS 主な仕様

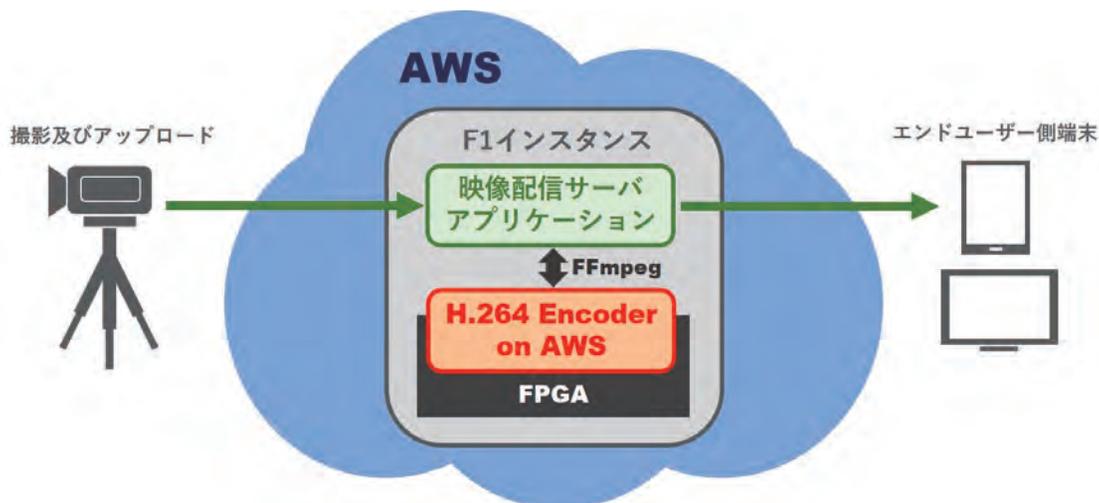
項目	仕様
プラットフォーム	AWS/Amazon EC2 サービスサービス /F1 インスタンス
解像度	最大 1920 x 1080 ピクセル
画素フォーマット	4 : 2 : 0 / 8 ビット
フレームレート	解像度 1920 x 1080 時時 最大最大 120fps
複数チャンネル動作	可 (例：(例：1920 x 1080 @ 30fps x 4ch))
エンコード	高画質設定時：約 1 秒秒
遅延時間	低遅延設定時：約 100 ミリ秒ミリ秒
エンコード画質	・ x264 veryslow プリセットレベルプリセットレベル ・ 2パスエンコード可パスエンコード可

ソシオネクストについて

株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) は、SoC (System-on-Chip) の設計・開発および販売を事業とするグローバルの設計・開発および販売を事業とするグローバル企業です。コンシューマ、オートモーティブおよびインダストリアル分野における世界トップレベルの技術を核に、今日企業です。コンシューマ、オートモーティブおよびインダストリアル分野における世界トップレベルの技術を核に、今日のさまざまなアプリケーションの進化を支えます。長年培った技術力と経験、さらに豊富なさまざまなアプリケーションの進化を支えます。長年培った技術力と経験、さらに豊富な IP ラインナップをベースにラインナップをベースに卓越卓越したしたソリューションソリューションを提供提供し、し、人々人々の豊富な豊かな体験体験 = “better quality of experience” のの実現実現にに貢献貢献します。します。2015 年年に設立されたに設立された株式会社ソシオネクストは横浜市に本社を置き、株式会社ソシオネクストは横浜市に本社を置き、日本国内、アジア、米国およびヨーロッパの各拠点において日本国内、アジア、米国およびヨーロッパの各拠点において製品開発および販売活動をグローバルに展開しています。て製品開発および販売活動をグローバルに展開しています。

詳しくは <https://www.socionext.com/jp/> をご覧ください。

Amazon Web Services、アマゾン ウェブサービス、AWS、、Amazon Elastic Compute Cloud、Amazon EC2 は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。



図：H.264 Encoder on AWS 利用例

◆アストロデザイン：MPEG-4 AAC 22.2ch 対応オーディオデコーダー MA 1851 を発売

アストロデザイン株式会社（本社東京都大田区、代表取締役社長：鈴木 茂昭、以下アストロデザイン）は、MPEG 4 AAC 22.2ch/5.1ch/2ch オーディオ信号のデコードに対応したオーディオデコーダー MA1851 を発売する。



特長

- ・ MPEG 4 AAC 22.2ch /5.1ch/2ch のデコードが可能
- ・ 入力音声モードを自動追従
- ・ ARC/eARC 入力に対応
- ・ HDMI 8ch × 3出力、MADI 24ch × 1出力に対応
- ・ 22.2ch出力、21.2ch ダウンミックス出力
- ・ 出力音声のディレイ機能
- ・ 入力ステータス、音声レベルメーターを表示

製品情報 <https://www.astrodesign.co.jp/product/ma1851>
 型名 MA-1851

発売日：2020年9月（発売中）

価格：1,500,000円（税抜）

アストロデザイン株式会社

超高精細映像技術、リアルタイム高速デジタル信号処理技術をベースに、8Kをはじめとする高度な技術を要する分野において、さまざまなハードウェアソフトウェア製品を展開。放送業界やディスプレイ業界など映像業界全般において、オンリーワンの製品を提供し続けます。

◆キヤノン：「EOS C500 Mark II/EOS C300 Mark III」が2020年度グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）を受賞

キヤノンのデジタルシネマカメラ「EOS C500 Mark II/EOS C300 Mark III」が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2020年度グッドデザイン賞において「グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）」を受賞した。

5.9K フルサイズセンサーを搭載した「EOS C500 Mark II」（2019年12月発売）と、4K スーパー35mmのCMOSセンサー「DGO（Dual Gain Output）センサー」を搭載した「EOS C300 Mark III」（2020年6月発売）は、ユーザーが撮影現場に応じて自由にカスタマイズできる共通モジュールデザインを採用した、映像制作機器 CINEMA EOS SYSTEM のデジタルシネマカメラ。



EOS C500 Mark II/EOS C300 Mark III

小型軽量を生かしたドローン撮影から、拡張ユニットを装着した複数台のカメラによる撮影まで、幅広い映像コンテンツの制作に対応している。

本体デザインは、ジンバル^{※1}、ドローンなどの近年増加している撮影手法と相性を良くするためにキューブ型にした。また、撮影規模やシーンに応じてファインダーや入出力端子、レンズマウントまでもカスタマイズ可能な拡張システムを採用している。さらに本体側面の操作部は、操作ボタン周辺の形状や質感を見直すことで、撮影中に操作部を見ることなく指の感覚で快適な操作ができるようにした。

<「審査委員」評価コメント^{※2}>

「道具」の中に潜む、緻密（ちみつ）な機能美によって醸し出される、精悍（せいかん）なたたずまいが美しい。プロツールに求められる多数の物理ボタンや、撮影スタイルによって選ぶオプション類まで、ひとつひとつの物理的制約を丁寧に時間をかけてデザインしたであろう、その膨大な経験の上になりたつ本製品は、会社の哲学や姿勢までもがカタチとなってあらわれているようにさえ感じ、審査委員一同、これを高く評価した。世の中の潮流である「簡単、シンプル」とは真逆の現場をささえる機能と操作性がパッケージとして見事にまとめられており、「The」プロダクトデザインといえる一つの集大成である。高品位の映画から、機動力が求められるニュースまで幅広いコンテンツをカバーすべく手持ち、肩のせ、ドローンに至るまで、撮影現場でのあくなき撮影ニーズに応えた結果、わたしたちが日々、何気なく美しい映像が享受できていると改めて気付かされた。

今回の受賞を励みとして、今後も性能とデザインを高度に融合させた製品づくりを続けていくとしている。

※1 1つの軸を中心に物体を回転させる回転台の一種。

※2 出典：グッドデザイン賞公式ウェブサイト

<https://www.g-mark.org/award/describe/50300>

キヤノン株式会社

● デザインホームページ： global.canon/ja/design

AD Index & URL

●本誌に広告掲載をいただきました各社からのさらに詳しい情報ならびに資料請求をご希望の方は、
下記ホームページ（各社 URL 記載）か本誌のホームページ「<http://www.uni-w.com/fdi>」をご覧ください。

会社名 URL	掲載頁	計測技術研究所 http://www.keisoku.co.jp/ コムテックス http://www.comtecs.co.jp/ コルグ http://www.korg.co.jp/ シーイーシー http://www.cec-ltd.co.jp/ シンタックスジャパン http://www.synthax.jp/ 西華産業 http://www.seika-di.com/ ゼンハイザージャパン http://www.sennheiser.co.jp/ ソニービジネスソリューション http://www.sony.jp/pro/ ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン http://www.solid-state-logic.co.jp/	NPO 日本ビデオコミュニケーション協会 http://www.javcom.or.jp/ ネットワークエレクトロニクスジャパン http://www.network-electronics.co.jp/ ノイトリック http://www.neutrik.co.jp/ ハーモニック http://harmonicinc.com/ パナソニック http://panasonic.biz/sav ビジュアルテクノロジー https://www.v-t.co.jp/ ビデオ・テック http://www.videotech.co.jp/ ヒビノ http://www.hibino.co.jp/ ヒビノインターサウンド http://www.hibino-intersound.co.jp/ フェアライト http://www.fairlight.co.jp/ フォトロン http://www.photron.co.jp/ フォービット http://www.fourbit.co.jp/ 富士フィルム http://www.fujifilm.co.jp/ ブラックマジックデザイン http://www.blackmagic-design.com/jp/ ブロードメディア・サービス http://www.bm-s.jp/ 朋 栄 http://www.for-a.co.jp/
アイディーエクス http://www.idx.tv/ アコースティックエンジニアリング http://www.acoustic-eng.co.jp/ アスク http://www.ask-corp.co.jp/ アストロデザイン http://www.astrodesign.co.jp/ アビッドテクノロジー http://www.avid.co.jp ヴァイテックプロダクションソリューションズ http://www.vitecproductionsolutions.jp/ 池上通信機 http://www.ikegami.co.jp/ 伊藤忠ケーブルシステム www.itochu-cable.co.jp/ インフィニットシステムズ http://www.infinite-s.com ヴィレッジアイランド https://www.village-island.com/jp/ エーディコミュニケーションズ http://www.bizat.jp/	P.25/P.27	高橋建設 http://www.takahashi-kensetsu.co.jp タックシステム http://www.tacsystem.com/ タムラ製作所 http://www.tamura-ss.co.jp/ ティアック http://www.teac.co.jp/ ティーエムエス http://www.tmsmedia.co.jp/ TC グループ・ジャパン http://www.tcgroup-japan.com/ ディーエスピージャパン http://www.dspj.co.jp テクノハウス http://www.technohouse.co.jp/ 東通インターナショナル http://www.totsu-int.co.jp/ 東通産業 http://www.totsu.co.jp/ トラスト http://www.trust.tv/ 日本映画テレビ技術協会 http://www.jma.or.jp/dp 日本エレクトロニクスショー協会 http://home.jesa.or.jp/ 日本テクトロニクス http://www.tektronix.co.jp/ 日本テクトラスト http://www.tech-trust.co.jp/ 日本デジタル・プロセッシング・システムズ http://www.dpsj.co.jp/	表 4
ATV http://www.atvcorporation.com/ SCA サウンドソリューションズ http://ss.sc-a.jp/ エヌジーシー http://www.ngc.co.jp/ NKL http://www.nkl.jp/ エムアイシー・アソシエイツ http://www.micassoc.co.jp/ エレクトロリ http://www.electori.co.jp オーディオテクニカ http://www.audio-technica.co.jp/ オタリ http://www.otari.co.jp/ オタリテック http://www.otaritec.co.jp/ カナレ電気 http://www.canare.co.jp/ 環境スペース http://www.soundzone.jp/ キヤノンマーケティングジャパン http://canon.jp/ グラスバレー http://www.grassvalley.jp/	表2見開	友 栄 http://www.for-a.co.jp/ 報映産業 http://www.hoei.co.jp/ ニッキヤビ http://www.niccabi.co.jp/ ミックスウェーブ http://www.mixwave.co.jp/ モガミ電線 http://www.mogami.com/ ヤマハ http://proaudio.yamaha.co.jp/ 武蔵エスアイ http://www.musashi-si.co.jp/ リアルサウンドラボ・ジャパン http://www.realsoundlab.jp/ リーダー電子 http://www.leader.co.jp/ ローデ・シュワルツ・ジャパン http://www.rohde-schwarz.co.jp/ja/	P.9 / 表 3

編集後記

●ジョロウグモ 先月号で紹介した、酔芙蓉（すいふうよう）が、6週間ぶりに同じ木に花をつけた。一年だと思っていたのだが、何回か楽しませてくれる。花を揺らそうと林の中に足を踏み入れると大きな蜘蛛が網を張っていた。ジョロウグモだ。気になる名前の由来だが、2つの説があるという。1つ目は、昔の遊郭の女性を指す「女郎」という言葉が由来とする説。もう一つは、大奥の高級女官「上臈（じょうろう）」が由来



となっている説がある。こちらも遊郭の女性と同じく華やかであるのが共通しているが、上臈は位が高いのがポイント。どちらにしても、華やかな女性のイメージの由来となっている。英語圏ではどのように呼ばれているのが調べてみると Joro Spider という、日本語の音とあてたようだ。もともとアジア圏に生息する蜘蛛だと言うことらしい。(maru)

★コロナ解禁...ではないけれど、世の中少しづつ「ニューノーマル」なるものに近づいているようだ。それにしても、この10ヶ月の間に、1年程前には聞いたこともなかった言葉が沢山誕生した。「3密」「クラスター」「パンデミック」「ソーシャルディスタンス」...と枚挙にいとまがない。これほど新たに言葉が作られ、瞬く間に世間に広まる事も珍しい。お陰でここ数ヶ月で今まで未知だった日本語以外の新しい言葉も覚える事が出来た唯一のメリット(?)だ。
そもそも「コロナ」の語源はラテン語の“Corona”で、「王冠」を意味する由緒ある名詞。英語ではクラウン“Crown”である。それが太陽の周囲の希薄なガスのことを指し、日本では コロナ、クラウンといえはクルマの車名やスポーツメーカーの社名に使われているのだ。由緒ある名詞であるが故、本来はこのように使われていたのだが、現在ネット検索で「コロナ」とやっても、「新



昭和を代表するハイパワー18R-G DOHCエンジンを搭載したコロナ・マークII GSS

型コロナウィルス」に関連する事ばかりで、過去のこのような言葉はまったく出てくる気配がない。いつになればこれらの言葉が上位に現れるのだろうか。(T.S)

月刊フルデジタル・イノベーション

2020年11月号(第22巻 第11号)
発行日 2020年11月1日
発行人 塩原 孝夫 Takao Shiobara
編集長 持丸 和夫 Kazuo Mochimaru
発行 (株)ユニワールド
〒156-0043
東京都世田谷区松原2-34-9
Tel 03(5376)7267
Fax 03(5376)7270